

①保健相談センター

基本 目標	施策	施策 の 期間	事業	No.	主な取組み	ご意見等	担当課	回答
③		2	1	1	健康講座等の実施と充実(事業全体について)	【横手(幸)委員】高齢者対象の講座、教室等ではできれば細かい地域の単位で開催していただければ参加しやすくなるかと思えます。	保健相談センター	対象者を高齢者に限った講座等は保健相談センターでは実施しておりませんが、公民館等とタイアップして身近で健康情報が得られるように事業を企画するなど、実施方法等を検討してまいります。
				64	健康まつりの開催	【桑原委員】健康に関する体験イベント・体力測定・血管年齢等のさまざまな情報を入力でき、来場者数は増加。市民の健康意識が向上していることは大変喜ばしいことだと思います。 評価A:来場者数の更なる取り組みが必要である旨の課題となっていますが、通常の保健相談センター事業でも、車で来場者が多いため、生涯学習センターの駐車台数が不足気味、駐車スペースを探す車で危険と思われます。他の施設での開催が、他の事業とのタイアップによる開催を検討することにより、より一層の来場者数が見込めるのではないのでしょうか。	保健相談センター	健康まつりは、体力測定や歯科相談、脳年齢測定等体験できる催しを取り入れたことで参加者数は増加しております。その結果、ご指摘のとおり駐車場が不足している現状です。他の施設での開催も検討しましたが、調理が可能で駐車スペースが広い会場はなかなか難しい状況です。駐車スペースも含めた開催方法等につきまして、今後も検討を重ね、日高市民が健康維持・増進に向かうきっかけになるイベントを開催していきます。
			3	1	母性保護の必要性について普及・啓発(事業全体について)	【横手(幸)委員】中学生を対象に何か事業を実施しているのでしょうか。	保健相談センター	現在、中学生を対象にした事業の実施はございません。学校からの依頼等があれば協力していきます。
				67	母子健康手帳交付時の趣旨啓発	【大川戸委員】平成30年度から保健相談センターのみで行う妊娠前から継続した支援体制の強化。長い間赤ちゃん訪問を行って、母子への支援の一本化の必要性を感じていました。大変素晴らしいと思います。期待しています。	保健相談センター	平成30年4月から妊娠届の提出および母子健康手帳の交付を保健相談センターのみで行い、助産師・保健師が全ての妊婦さんと面接を行うことができています。今後も支援体制の充実に努めていきます。

②産業振興課

基本 目標	施策	施策 の 期間	事業	No.	主な取組み	ご意見等	担当課	回答
②	2	2	1	1	企業における女性の活用に向けたポジティブ・アクションの促進(事業全体について)	【平井委員】SNSの活用は？紙ベースからの脱却は？	総務課、産業振興課	産業振興課: 現在市で主催する事業等を実施していないため、SNSでの情報提供等は実施しておりません。今後事業を実施する際にはSNSの活用を検討いたします。また、紙での情報提供等につきましては完全になくすることは難しいと考えます。今後はSNSと紙、双方のメリットを生かしながら事業の情報影響を検討してまいります。
				35	広報ひだか、ホームページ及びチラシ等による情報提供、啓発	【桑原委員】女性が男性の対等なパートナーとして経営に参画できる家族協定締結した農家が増えたことは喜ばしいことで評価します。しかしながら家族経営だけに食事等の家事については女性の負担がどうしても多い現状にあると思われます。No.20「男の料理教室」等の開催「農家飯」などの推進も同時に説明、ご案内できたらと思います。	産業振興課	家族経営協定とは、家族全員が意欲とやりがいを持って農業に取り組んでいけるよう、将来の経営目標、家事なども含めた役割分担、労働条件、給与などについて取り決めるものであり、ご指摘のとおり協定書の中では家事について女性が受け持つ割合が多くなっているのが現状です。 今後、家事の分担などについての意識を高めるため、農業委員会へ依頼し、市内農家へ配布している広報誌の中で、簡単にできる料理のレシピなどを掲載することを検討してまいります。

③学校教育課

基本 目標	施策	施策 の 期間	事業	No.	主な取組み	ご意見等	担当課	回答
③	1	1	3	3	地域、学校における意識啓発(事業全体について)	【平井委員】どうしたら関心を持つのかやり方を再考すべき。パンフをつくれればよいというものではない。	子育て応援課、学校教育課	学校教育課: 県からのパンフレットの配布による啓蒙活動を行いました。さらに高麗川中では「性に関する人権学習」で、大学病院の産婦人科医師を講師として講演会を開きました。内容は、男女交際、デートDV、かけがえのない命等についてでした。高根中では、埼玉県男女共同参画推進センターから講師をお願いし、「デートDVについて」の講演会を行いました。被害を受けた方から直接話を聴くなど、人権について学習しました。

④長寿いきがい課

基本 目標	施策	施策 の 期間	事業	No.	主な取組み	ご意見等	担当課	回答
②	1	1	2		介護環境の整備(事業全体について)	【平井委員】事業所の数を増やすだけでなく、質の確保が重要では？	長寿いきがい課	ご指摘のとおり、事業所の質の確保は重要なことであり、事業所の取組によるところが大きいのも事実でございます。地域密着型サービス事業者の指定権限を持つ市としては、実地指導等により指導できる点は指導してまいりたいと考えております。
				18	認知症カフェの設置	【大川戸委員】市内5か所に定期開催をしたとなっていますが、設置場所とその場所選定の条件がありましたら、教えていただけますか。	長寿いきがい課	こま武蔵台福祉ネット ふれあいサロン(こま武蔵台ショッピングセンター内)、こま川団地管理サービス事務所集会所、東急こまがわ自治会館、デイサービスセンター雅(高萩)、高萩公民館で開催しております。 場所の選定条件は特になく、実施をしている各地域包括支援センターが、開催について協力いただける場所等で行っております。

⑤子育て応援課

基本 目標	施策 番号	施策 の 範囲	事業 番号	No.	主な取組み	ご意見等	担当課	回答
①	3	1	2	12	研修への保育士の参加促進	【平井委員】平日昼間に行う研修→日時や時間を調整すべきでは。 【大川戸委員】評価Bで平日行われている研修のため、多くの保育士の参加が困難となっているとありますが、平成29年度研修回数と参加人数(保育士全体の割合は)、そして経験を考慮しながらの研修参加とはどんな方法でしょうか？わかる範囲で結構です。 【横手(幸)委員】保育士の研修に関しては、勤務時間内に実施することは難しく、何か良い方法を検討すべきと考えます。教職員と同じく教育者の立場として必須だと思います。	子育て応援課	【平井委員】参加できていない保育士の勤務シフトを研修日程と重複しないよう、施設全体で協力し調整していくように検討します。 【大川戸委員】市で実施された内部研修では、全員の保育士が参加できましたが、外部の研修は、2回で3名の参加でした。経験を考慮とは、これまでの研修参加実績を考慮したものです。 【横手(幸)委員】勤務時間外に参加した保育士から研修内容の指導を受けるなどで、知識を多くの保育士で共有できるよう検討して参ります。
②	1	1	1	16	子育てに関する相談体制の充実	【桑原委員】関係機関からの相談が増えたところがあるが、ここ数年の年間件数は何件ぐらいか。評価Bであるが、昨今の社会情勢からみて現状の体制で対処できているのか。また、教育センター(教育相談)との関わりはどのようになっているのでしょうか。	子育て応援課	相談件数は平成29年度715件、28年度935件、27年度783件となっています。相談件数は減少していますが、新規相談と警察からの相談が増加しています。 相談員の社会福祉主事、児童福祉士任用資格の取得や専門研修に参加し、相談員の資質向上により相談体制を確保しております。 教育センターは要保護児童対策地域協議会の構成機関となっており、要保護児童等、ハイレスク家庭等の情報共有を図っております。相談内容に応じて教育センターへの相談につなげております。
③	1	2	3		地域、学校における意識啓発(事業全体について)	【平井委員】どうしたら関心を持つのかやり方を再考すべき。パンフをつくればよいというものではない。	子育て応援課、学校教育課	<u>子育て応援課</u>： ・民生委員・児童委員を対象に、DV講座の開催について調整しています。 ・中学生を対象とした、デートDV講座を2回開催する予定となっています。 ・内閣府・県が実施するパープルリボンキャンペーンへの参加や成人式でのパンフ配布などDV防止啓発を行っております。 ・女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ、市民まつり会場で意識啓発を行ってまいります。

⑥総務課

基本 目標	施策 番号	施策 の 範囲	事業 番号	No.	主な取組み	ご意見等	担当課	回答
施策全体について						【平沼委員】 全体的なこととして、評価の「B」について、評価と課題の中で、課題等については理解しているが、 具体的に今後、行っていく目標が記されていない箇所が見受けられた。具体的な取組みを記入したらどうか。	総務課	評価の結果、課題等が見受けられるものにつきましては、今後の対応について記入してまいります。
①	1	1	1	2	男女共同参画情報紙の発行	【平井委員】何部出しているのか？効果測定は？主たるターゲットは？若い世代向けにはSNSの活用のほうが効果的かも。	総務課	平成29年度は20,000部作成しており、市内に全戸配布するとともに、市内各公共施設へ設置しております。また市ホームページにおいても公開し、あわせて市ツイッター、フェイスブック、LINEにより発信しており、SNSの活用に積極的な若い世代の方々への啓発効果が期待できると考えます。 なお、主たるターゲットについてですが、今回の「こらぼ」では、女性の起業や社会での活躍についてだけではなく、「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)」についてもテーマとして取り上げております。このことから、「こらぼ」を全戸配布し、各家庭で目にしていただくことにより、年代を問わず幅広い世代の(ご家庭の)方々に、身近な問題としてワークライフバランスについて、そしてそこから男女共同参画について考えるきっかけになっていたければ、十分な啓発効果が得られるものと考えております。 また、こちらにつきましては次回プラン策定前の市民意識調査において効果を測定してまいります。
	2	1	1	7	女性委員の幅広い登用の実施	【桑原委員】審議会等の女性委員の構成割合について40%以上となるよう努力することを庁内に周知した結果、目標以上の42%の実績は職員の意識が高められたものと評価する。委員の選任については、あて職や団体代表者に囚われない選考を促したところがあるが他の審議会等の委員と兼ねている方もいるのではないか、実情はどうでしょうか。	総務課・各課	<u>総務課</u>： H29年度末におきまして、女性委員全170名の中で25名(33.5%)の方が兼務されております。これにつきましては「審議会等の設置及び委員の選任等に関する指針」がございまして、兼職数は「同一人が兼職できる審議会等の数は3以内とする」となっておりますことから、今回確認したところ、例外(公共団体の職にある者)を除いては、兼職している委員の兼職数は3以内となっており、指針に沿ったものとなっております。 なお、総務課といたしましては、特定の個人を充て職として指名するようなものについては、例規等の改正により、幅広い人選を可能とし、女性の登用を促しております。
②	2	1	3	27	女性相談事業等による相談体制の充実	【大川戸委員】引き続き現行体制の維持は必要ですが、近年、女性の地位も向上しつつあり、強くなっている。そこで同様に男性の相談体制の必要はいかがでしょうか。	総務課	現時点で、市として男性への相談事業を実施するという予定はございませんが、おっしゃる通り、近年男女共同参画推進センターにおいて、男性電話相談を月に1回実施しておりますように、近年男性向け相談の必要性が高まってきているものと思われます。市としては今後ニーズを注視するとともに、男性相談を希望される方がいらっしゃる場合には、県の相談機関をご案内させていただきます。なお、こちらの情報につきましては、市ホームページや、市内各公共施設設置の日高市「市民相談」のご案内にも掲載しております。
	2	1			企業における女性の活用に向けたポジティブ・アクションの促進(事業全体について)	【平井委員】SNSの活用は？紙ベースからの脱却は？	総務課、産業振興課	<u>総務課</u>： ホームページで発信している情報につきましては、市フェイスブック、ツイッターやLINEでも同様に情報を提供しています。今後も引き続き、紙ベースとSNSやホームページ等の電子媒体の両方から情報を発信していきたいと考えております。